

「学研高山地区第2工区の事業進捗について」の説明資料

1. 学研高山地区第2工区(全体)
2. 学研高山地区南エリア(先行地区)
3. 学研高山地区ゲートエリア(次工区)及びFエリア

目次

1. 学研高山地区第2工区(全体)
2. 学研高山地区南エリア(先行地区)
3. 学研高山地区ゲートエリア(次工区)及びFエリア

これまでの経緯(R6.9～)

地区の概要

面積：約288ha
権利者数：約1080名（代表者） R8.8時点

経過概要

[経緯]

令和6年

9月 市議会定例会 進捗説明

12月 学研高山地区南エリア土地区画整理準備組合設立

令和7年

4月 都市計画変更(都市計画道路 高山南北線・高山東西線)

10月 関西文化学術研究都市の建設に関する計画変更
- 奈良県域の学研都市についての総合計画 -

令和8年

3月 けいはんな学研都市第5期ステージプラン策定
- 関西文化学術研究都市建設促進法の実行計画 -

5月 学研高山地区及び周辺地域価値向上事業
構想提案報告会

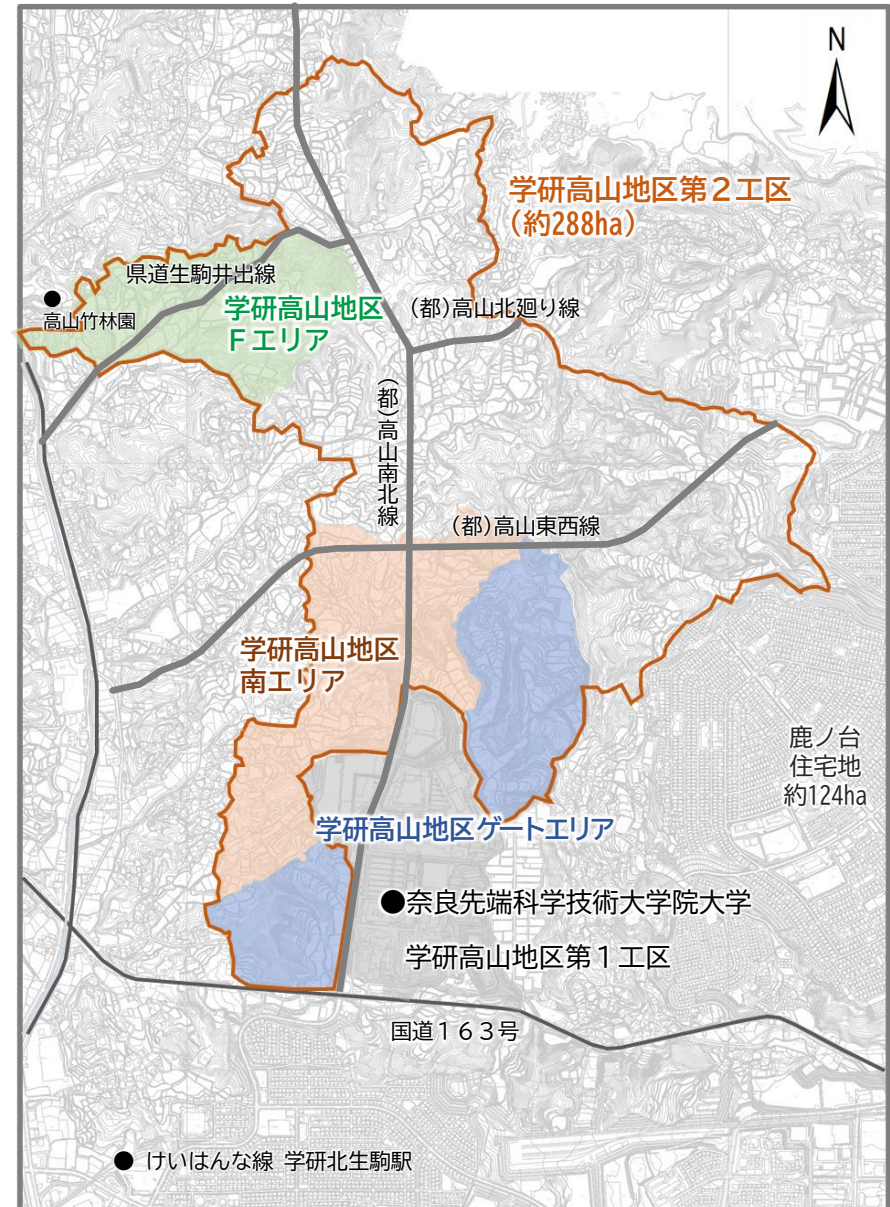
8月 学研高山地区ゲートエリア土地区画整理準備組合設立

[会議]

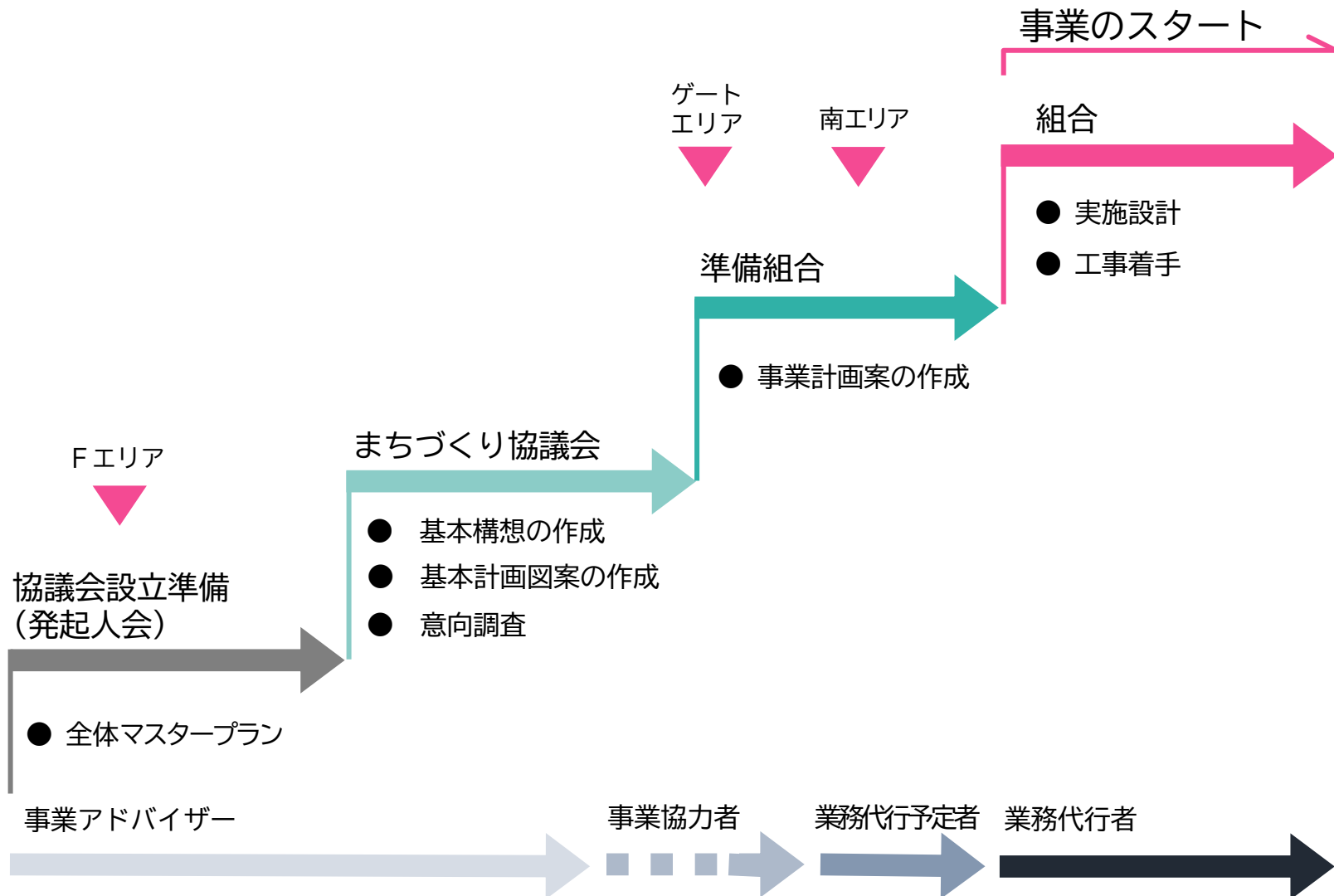
地権者の会総会 2回開催(全9回)

地権者の会役員会 3回開催(全38回)

学研高山地区第2工区事業推進会議 3回開催(全6回)



各エリアの事業時点と事業の流れ(土地区画整理事業)



※上記の事業の流れは、各エリアの進め方により変更となることがあります。

奈良県建設計画

計画の概要

- 関西文化学術研究都市建設促進法第5条第1項の規定に基づく計画。
- 奈良県域の学研都市についての総合計画。内容は、都市機能、施設整備の方向、人口規模、土地利用の方針、各文化学術研究地区の配置・土地の利用に関する事項、文化学術研究施設の整備に関する事項等。

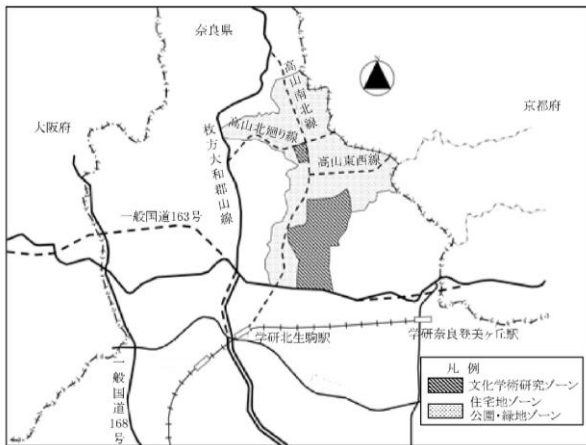
今回の主な変更点(R7.10変更)

[まちづくりの方向性]

学研高山地区第2工区マスタープランにおける「産業を中心としたまちづくり」とする方向性を受け、建設計画の高山地区のまちづくりの方向性を住宅を中心としたまちづくりから、産業を中心としたまちづくりへ変更。

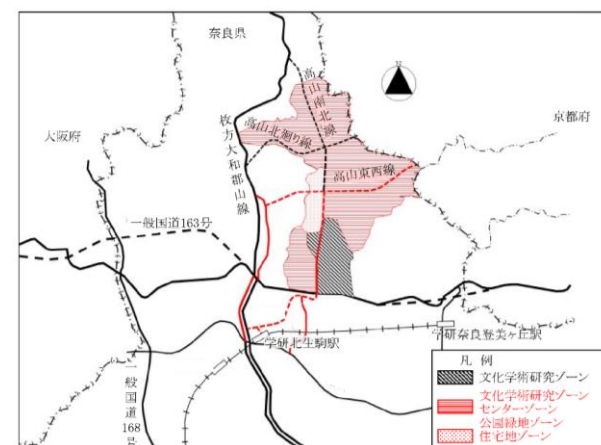
変更前

- (1)機能別土地利用面積
「文化学術研究ゾーン」 約78ha
「住宅地ゾーン、公園・緑地ゾーン」 約255ha
- (2)立地制限 研究開発型産業施設のみ立地可
- (3)土地利用図



現行

- (1)機能別土地利用面積
「文化学術研究ゾーン」 約45ha
「住宅地ゾーン」 約30ha
「文化学術研究ゾーン、センターゾーン、公園・緑地ゾーン」 約258ha
- (2)立地制限
現行に加え、文化学術研究を支援する産業施設等も可
- (3)土地利用図



※ 奈良県の資料を用いて作成。

けいはんな学研都市第5期ステージプラン –ポスト万博シティけいはんな– について

｜ステージプラン策定の目的

- 「ポスト万博シティ」としての役割を受け、実証都市としての強みのさらなる発展
- 研究成果を早期に社会実装し、研究成果の活用・拡大を図るステージへの進化

｜第5期ステージプランのビジョン(R8.3策定)

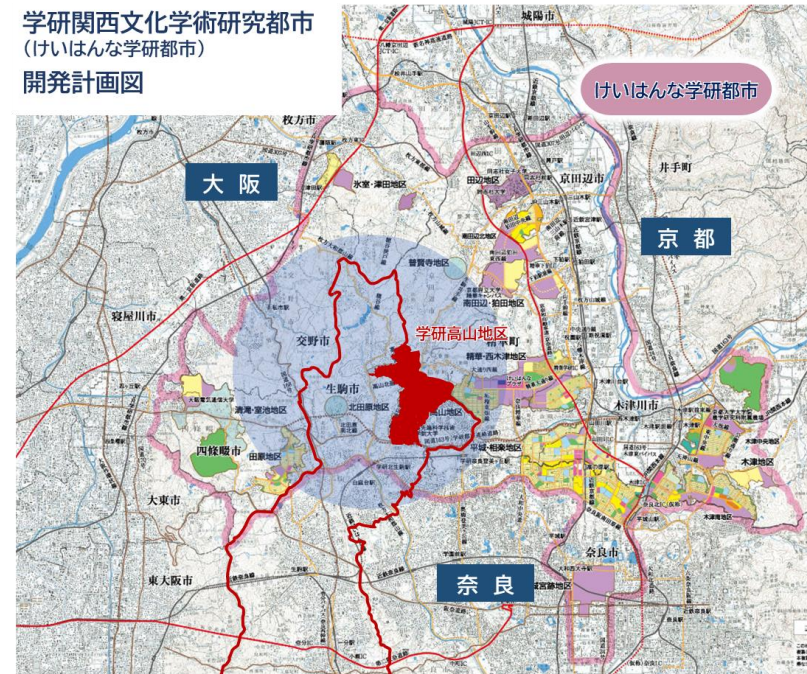
【本都市が果たすべき役割】

世界の未来への貢献／多様な知と文化の融合による新たな価値創造

【目指すべき都市像】

- ① 研究成果を現実社会に活用し、持続的に発展する「未来都市」
- ② イノベーション創出の原動力となるクリエイティブな人材が活躍する「人材成長都市」
- ③ 異なる価値観が交差し、新たな連携・交流が生まれる「共創都市」

学研関西文化学術研究都市
(けいはんな学研都市)
開発計画図



出典：関西文化学術研究都市推進機構

｜ビジョン実現に向け、学研高山地区が果たすべき役割

- 関西の成長に寄与する東西軸等の他の拠点との広域連携
- 奈良先端大を中心に、文化学術研究施設・研究開発型産業施設の集積
- デジタル化を推進するための社会インフラ(高付加価値データセンターなど)の立地による特徴あるクラスター整備
- 文化・学術・研究の成果をいかす産業施設や生産施設の集積
- デジタル・AI関連産業やスタートアップ等の集積によるイノベーション拠点の形成
- 最先端技術と伝統・文化との融合
- 次世代型都市インフラの整備(交通等)の推進による、スマートで持続可能な都市機能の集積
- 内陸部に位置する特性を活かした強靱で持続可能な国土・地域づくり など

※ 第5期ステージプラン 第5章「ビジョン実現に向けた取組」から学研高山地区に関係が深い取組に関する記述を抽出

けいはんな学研都市第5期ステージプランの実現にむけて

国の施策動向を踏まえた企業集積

日本成長戦略における17分野

AI・半導体	デジタル・サイバーセキュリティ	情報通信
量子	防衛産業	航空・宇宙
海洋	造船	マテリアル
合成生物学・バイオ	創薬 先端医療	資源・エネルギー・GX
フュージョンエネルギー	防災・国土強靱化	港湾ロジスティクス
フードテック	コンテンツ	



学研高山地区第2工区の強み

■ 奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)の存在

- > 研究領域3分野(物質創成科学(マテリアル)、バイオサイエンス、情報科学)
- > 奈良県立医大との医工連携(創薬・先端医療)

■ 関西電力変電所の存在(安定した電力供給が可能)

- > データセンターの立地による関連施設誘致(AI・デジタル)

■ 丘陵地であり災害リスクが比較的小さい

- > 防災・国土強靱化

■ 市街化区域・約288haという広大な未利用地

- > 文化学術研究施設・研究開発型産業施設の集積
- > 特徴あるクラスター整備・イノベーション拠点の形成
- > 研究成果を実装する生産施設の導入

奈良先端大と生駒市の連携による取組みについて ①

包括連携に関する協定(締結日 R3.10 / R8.4)

協定書 第2条(連携・協力)

■ J-PEAKSと連動したまちづくりに関すること。

1 学研高山地区第2工区の開発に関すること。

2 多文化交流の推進に関すること。

J-PEAKS(地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 文部科学省)

■ 目指す10年後の大学ビジョン

研究シーズの社会実装をデジタル技術で推進し、国際連携の下で人口減少社会の持続的発展に貢献する大学

■ 事業の期間

令和7年4月

～令和12年3月(5年間)

■ 事業の概要

[戦略1]

東南アジア諸国からの戦略的な人材リクルートと育成

[戦略2]

自律的研究強化・社会実装システムの構築と共有

■ 事業概要

日本全体の研究力を向上させ、新たな価値創造を促進していくために、大学ファンドによる国際卓越研究大学への支援と並行して行う事業。

強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営の下、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力強化を図る環境整備を支援する。



※ 出典:奈良先端大HP

奈良先端大と生駒市の連携による取組みについて ②

- 学研高山地区及び周辺地域の価値向上事業 -

事業概要

- ・ 学研高山地区のみならず、その整備効果を周辺地域にも波及させるため、周辺地域のニーズを把握。
- ・ 伝統文化・歴史や自然と最先端が融合した拠点形成を目指し「地権者・周辺住民・奈良先端大等」が参加し意見交換を実施。
- ・ 学研高山地区及び周辺地域の価値向上につながる、公民連携による拠点構想案を作成。

経過概要

意見交換会

地域の魅力や特徴について、2回の意見交換(ワークショップ)を実施。

アンケート調査

意見交換会の結果をもとに、求められる拠点について、市民等を対象にアンケートを実施。

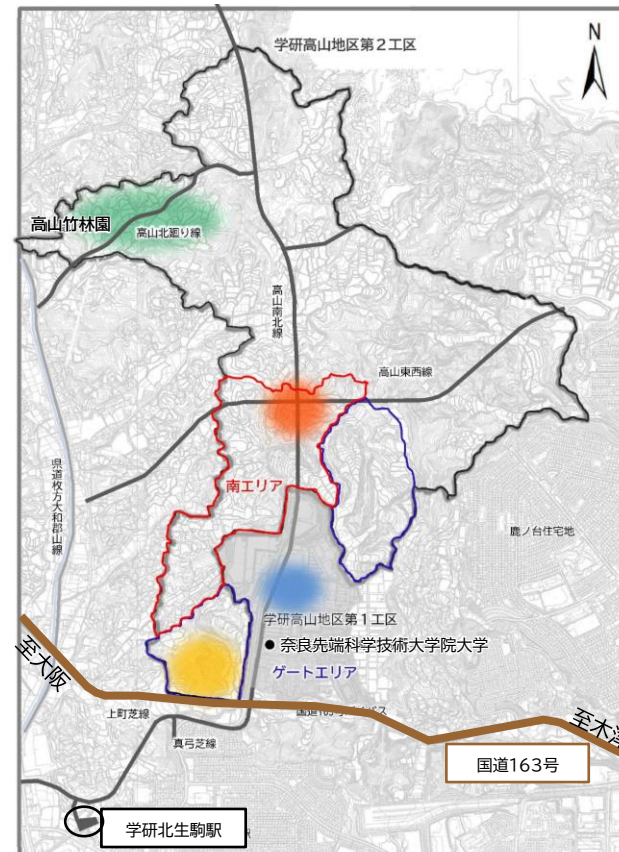
意見交換会

意見交換、アンケート結果などを踏まえ、3回の意見交換を行い、4か所の拠点構想案を作成。

拠点構想提案報告会

参加者から市・奈良先端大に対して、拠点構想提案を報告。

意見交換を行ったエリア



自然・歴史文化との共生拠点

豊かな自然環境、歴史文化資源、伝統産業と最先端技術の融合、高山竹林園との連携。

周辺地域の暮らしの充実拠点

人の交流と賑わいを生み出す公共的空間。多様な生活に対応する生活利便施設や、他の学研都市との連携による学研高山地区の中核拠点。

大学と地域の連携・協力拠点

先端大の教育研究活動や産官学の連携、研究者等の育成やイノベーション創出を促進する拠点。

広域的な地域交流拠点

国道163号沿いで学研高山地区の玄関口にふさわしい交流と賑わいのある拠点。地域の魅力発信や自然の仕組みを利用した整備。

※ 各拠点の構想提案は参考資料を参照。

目次

1. 学研高山地区第2工区(全体)
2. 学研高山地区南エリア(先行地区)
3. 学研高山地区ゲートエリア(次工区)及びFエリア

南エリアの経過概要(R6.9～)

地区の概要

面積：約48ha
権利者数：約140名（代表者）R8.7時点

経過概要

[経緯]

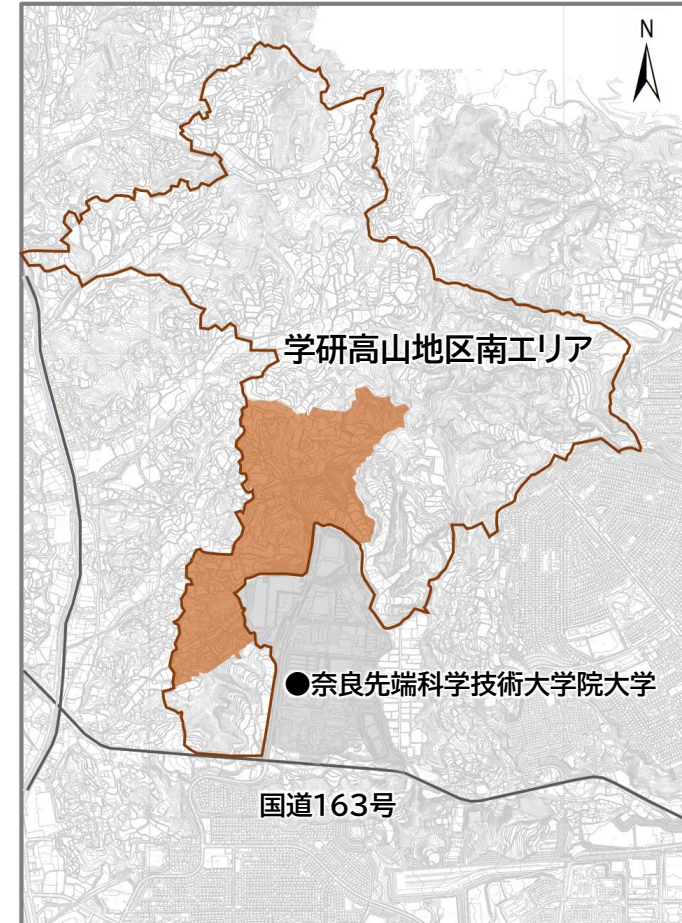
令和6年
10月 基本構想作成
12月 学研高山地区南エリア準備組合設立(同意率81%)

令和7年
10月 環境調査開始
11月 先進地視察(彩都地区 大阪府茨木市)
企業へのPR・周知(PRパンフレット)
12月 基本計画図(案)変更

令和8年
3月 事業計画案作成
4月 業務代行予定者一般公募開始(6月選定審査会)
7月 第2回土地区画整理準備組合総会
一括業務代行予定者を(株)フジタに決定

[会議]

準備組合 総会 2回開催
準備組合 役員会 14回開催
説明会・勉強会 3回開催(個別説明も合わせて実施)



学研高山地区南エリア 基本構想

令和6年10月4日時点

学研高山 南エリアからつながるまちづくり ～ 世界に向けて Take off !! ～

住宅ゾーン(低層・中高層)

[目指す空間像]

- ・ 住民が企業の研究開発に実証実験的な役割に参加する居住実験都市の実現
- ・ ICT等を活用したスマートなライフスタイルの実現
- ・ 子育て世帯や高齢者まで、あらゆる人が快適に住み続けられる次世代型居住環境の形成

[導入例]

次世代型戸建て住宅・中高層集合住宅・スマートタウン など



プレミスト平和台 ZEH-M 出典: 大和ハウス工業HP

研究支援・研究型産業ゾーン

[目指す空間像]

- ・ 研究成果の実装・実証実験を行う場の創出
- ・ イノベーションの創出、研究開発を支援するバックアップ拠点の創出

[導入例]

研究開発型産業施設・データセンター など



データセンター
出典: NTT データセンターの成長戦略



都市機能集積ゾーン

[目指す空間像]

- ・ 周辺クラスター地区との連携による、相乗効果を生み出す学研高山地区の中核
- ・ ライフステージの変化や新しい生活様式に対応することができる生活利便施設等の集積・誘導
- ・ 人と人が交流する賑わい空間の創出

[導入が望まれる機能]

商業施設・医療機関・公共的空間 など



町田南グランベリーパーク
出典: 南町田拠点創出まちづくりプロジェクト
新たな商業施設の姿

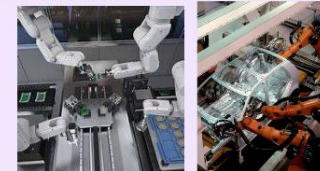
都市型産業ゾーン

[目指す空間像]

- ・ 研究・イノベーション開発の拠点となる研究開発型産業施設の集積
- ・ 文化・学術・研究の成果を活かす産業施設、ものづくり産業施設の集積

[導入例]

研究開発型産業施設・ものづくり産業施設 など



産業用ロボット
出展: FAロボット.com
(キーンエス)

文化学術研究ゾーン

[目指す空間像]

- ・ ものづくり産業やことづくり産業、新しい価値を創出する場としての文化学術研究施設などの機能の集積
- ・ 技術者の育成を図ることを目的とした施設の誘致やスタートアップ企業の集積

[導入例]

研究開発型産業施設・文化学術研究施設 など

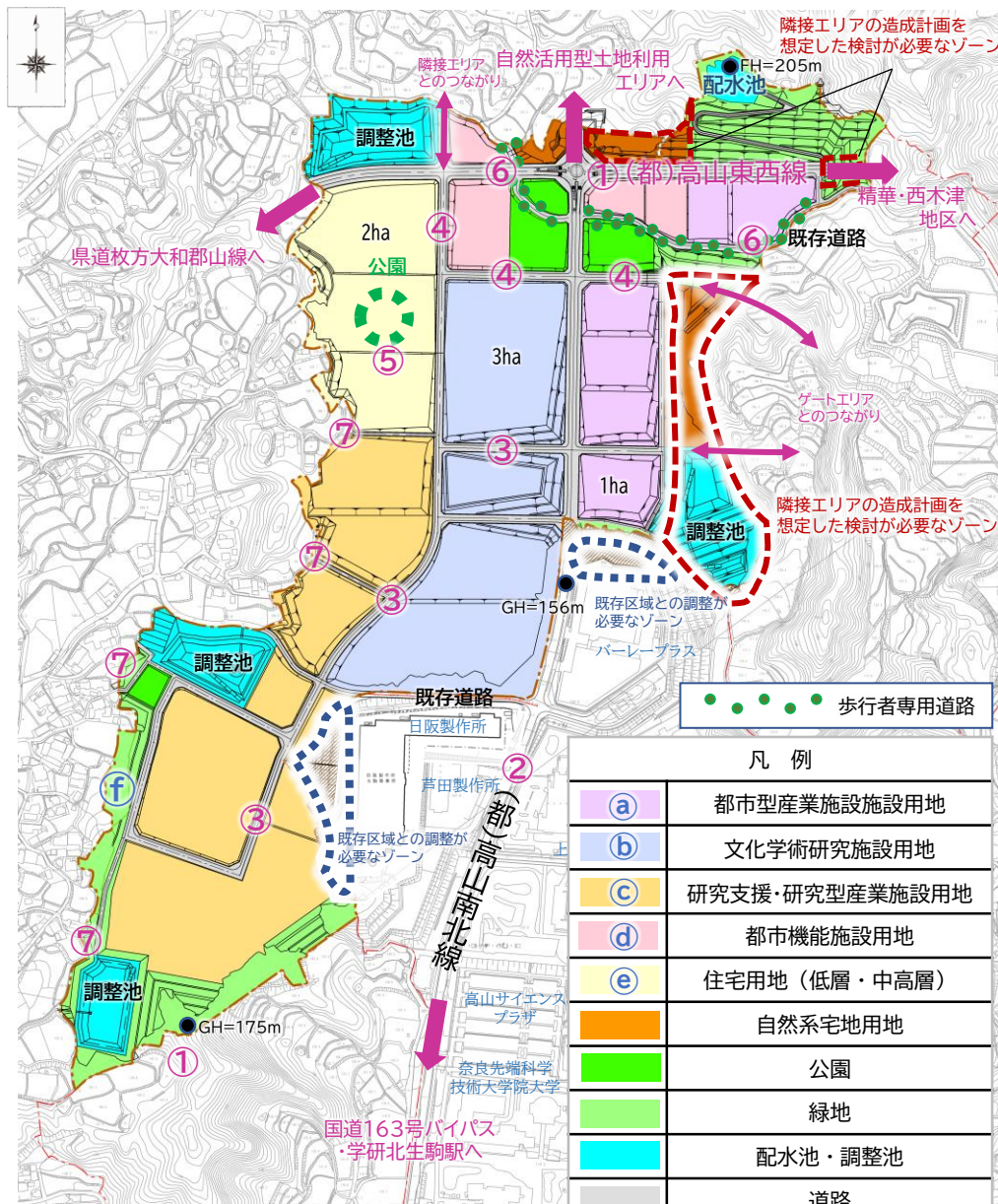


国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)
出典: ATR HP

※ 基本構想の内容は、イメージであり確定したものではありません。

学研高山地区南エリア基本計画図（案）

令和7年11月時点



※土地利用種別(各用地)の位置・面積規模については、立地企業等の動向を踏まえ柔軟に対応するものとする。

概略計画・設計方針

■造成計画・街区計画…流域や丘陵地形、道路勾配、施設配置を考慮した造成計画

- (a)(b)(c) 産業系施設用地 … 大街区の構成を基本【約23ha】
- (d) 商業系施設用地 … 骨格道路沿道に配置【約2ha】
- (e) 住宅用地 … 大街区の構成を基本(二次造成にて宅地街区割り)【約5ha】
- (f) 集合農地 … 農地(田)希望者の換地(1か所で500㎡以上必要)を農業用水の配水ルートを勘案し配置。

■道路のルート設定・勾配設定

<骨格道路>…都市計画道路として整備

- ①高山東西線 幅員18m(先端大西側既存道路幅員と同じ) 勾配 約1.0~2.5%
 - ②高山南北線 幅員18m(先端大西側既存道路幅員と同じ) 勾配 約2.0~6.0%
- ※幅員構成については将来の次世代交通を見据え、柔軟に対応する。

<補助幹線道路>…土地利用や次工区へのつながりを考慮した道路計画

- ③幅員10m(片側歩道)(主に産業系、研究・研究支援ゾーン)
- ④幅員12m(両側歩道)(主に住宅、商業系ゾーン)

<区画道路>

- ⑤住宅用地内の道路は、別途二次造成計画時での配置を想定。(幅員6.0m)

<歩行者専用道路・歩行者ネットワークの形成>

- ⑥既存道路(ガス道の一部)は歩行者専用道としての整備を検討。
なお、植栽を施すなど歩行者空間の整備についても検討。
- ⑦既存集落からのアクセスを考慮した歩行者専用道の配置を検討。

■既存集落との調和

- ・既存集落の隣接部は、緩衝帯を設ける等の環境負荷軽減対策を検討。

■緑の街並み形成

- ・骨格道路(高山南北線・高山東西線)沿いには植栽を施す。
- ・地区界縁辺部には、緑地(自然緑地)の配置を検討。
- ・公園は、土地区画整理事業の基準(区域の3%以上)を満たし、南エリアの中心部に配置するとともに、地区のバランスを考慮して配置を検討。
- ・ネイチャーポジティブ※1の観点からグリーンインフラ※2の整備を検討。
- ・その他、地区計画等の指定により、適宜、敷地内緑化を検討。

■調整池の位置・規模の設定

- 調整池…地区内の雨水排水を集めるため、流域の流末(地区内)付近に配置する。規模は、法令等に定められた基準値以上とする。

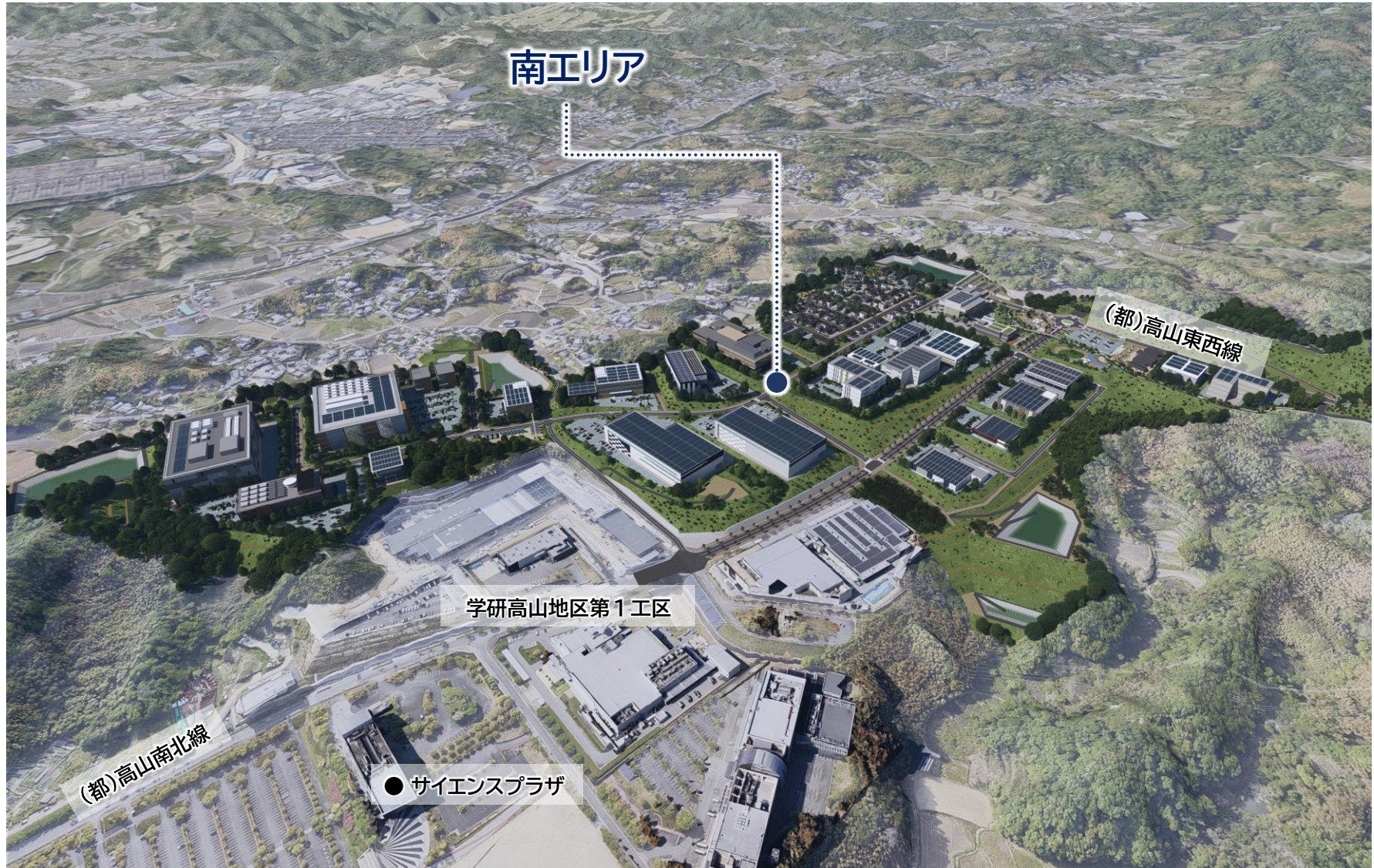
■農業用水路の機能復旧

- 農業用水路…農業用水の地区内外への配水ルートを確保する。

※1…自然生態系の損失を食い止め、回復させていくこと。

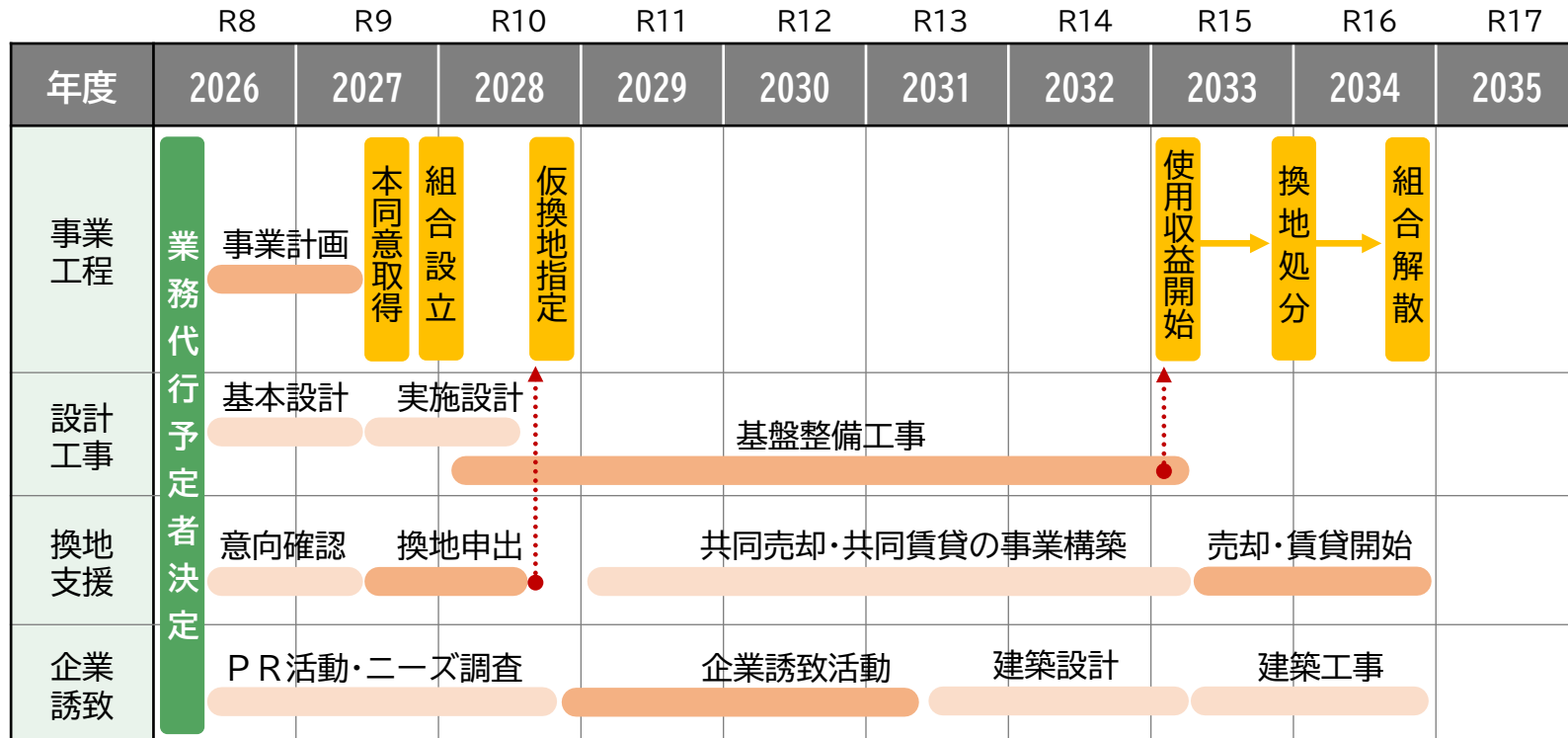
※2…自然環境が有する機能を社会的効果として発揮できるようにするための仕組み。

イメージパース((株)フジタの提案R8.7)



※イメージパースは、一括業務代行予定者募集に係る提案において(株)フジタが作成されたものです。今後の検討により変更されるものであり、決定したものではありません。

事業スケジュール(目標)



環境調査・事業計画案作成

環境調査

■ 時期

令和7年10月～令和9年3月

■ 項目

調査項目		
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価される環境要素	大気環境	大気質
		騒音
		振動
	水環境	水質
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	
	植物	
	生態系	
人と自然及び文化遺産との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	
	人と自然との触れ合いの活動の場	
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物	

奈良県環境影響評価技術指針に記載の標準項目および奈良県環境影響評価技術指針マニュアルを参考に上記調査項目を選定。

事業計画案作成

■ 期間

令和7年7月～令和8年5月

■ 内容

- 各種調査(土地利用調書作成等)
- 事業計画案の作成
- 都市計画変更の検討
- 準備組合の運営等支援

事業計画案(組合)

[概算事業費]

支出 : 190億円(内、工事費約150億円)

収入 : 保留地処分金及び補助金

[平均減歩率]

約75～80%

[備考]

- ・ 基本計画図(案)に基づく概算事業費の試算
- ・ 令和7年度の事業費単価で算出
- ・ 補助金は、国等の補助制度の活用について今後検討が必要
- ・ 一括業務代行予定者公募の際の提示内容
- ・ 将来的な物価上昇に伴うコスト変動をなしとして算出

目次

1. 学研高山地区第2工区(全体)
2. 学研高山地区南エリア(先行地区)
3. 学研高山地区ゲートエリア(次工区)及びFエリア

ゲートエリアの経過概要(R6.9～)

Ⅰ 地区の概要

面積：約43ha
 権利者数：約120名（代表者）R8.8時点

Ⅱ 経過概要

[経緯]

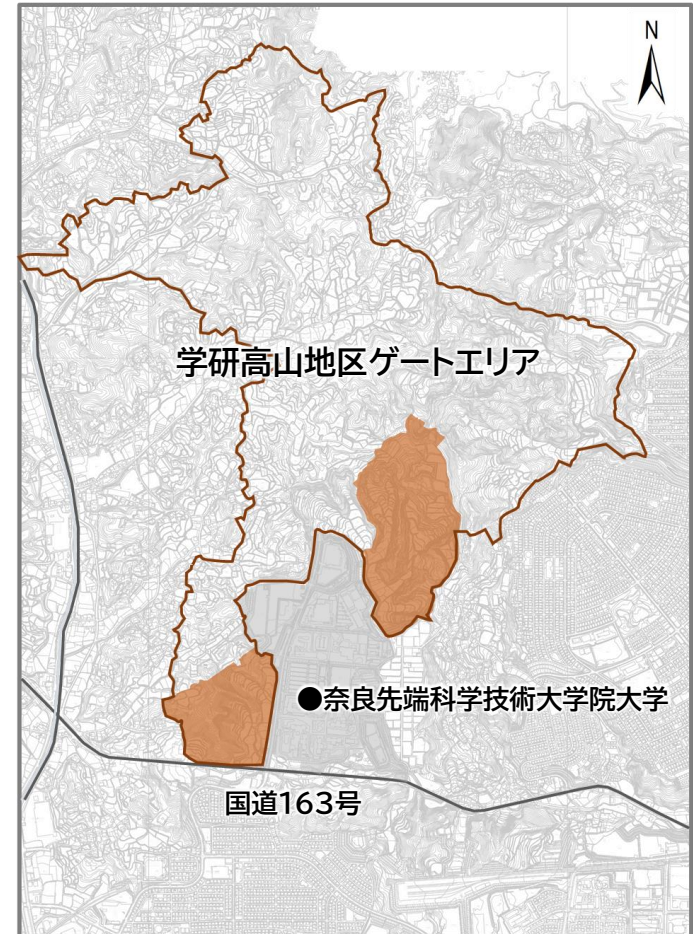
令和6年
 12月 学研高山地区ゲートエリアまちづくり協議会設立
 （参加率77%）

令和7年
 10月 基本構想作成
 12月 基本計画図(案)作成

令和8年
 1月 準備組合設立に係る同意取得の開始
 3月 基本計画作成
 8月 学研高山地区ゲートエリア準備組合設立
 （同意率82%）

[会議]

まちづくり協議会総会	1回開催
まちづくり協議会役員会	13回開催
勉強会・説明会	2回開催
準備組合総会	1回開催
準備組合役員会	1回開催



ゲートエリアまちづくり基本構想

多様な学びと交流の出発点／最先端テクノロジーによるイノベーション拠点 - 学研高山ゲートウェイ -

交流・発信ゾーン[高山ゲートウェイ]

[目指す空間像]

- ◆ 学研高山地区の玄関口にふさわしい交流と賑わいが生まれる機能と場の集積
- ◆ 学研都市にふさわしい次世代交通システム実装による移動手段の高度化に資する空間整備
- ◆ 地域の魅力や歴史・文化・伝統・アート、先端大等の研究成果の情報発信基地
- ◆ 公園・緑地・調整池等におけるグリーンインフラの創出

[導入が望まれる機能]

- ・ 交流・発信施設 ・ 多機能調整池
- ・ ウェルビーイングに資する施設
- ・ 地域住民の学びにつながる場
- ・ 次世代移動システム

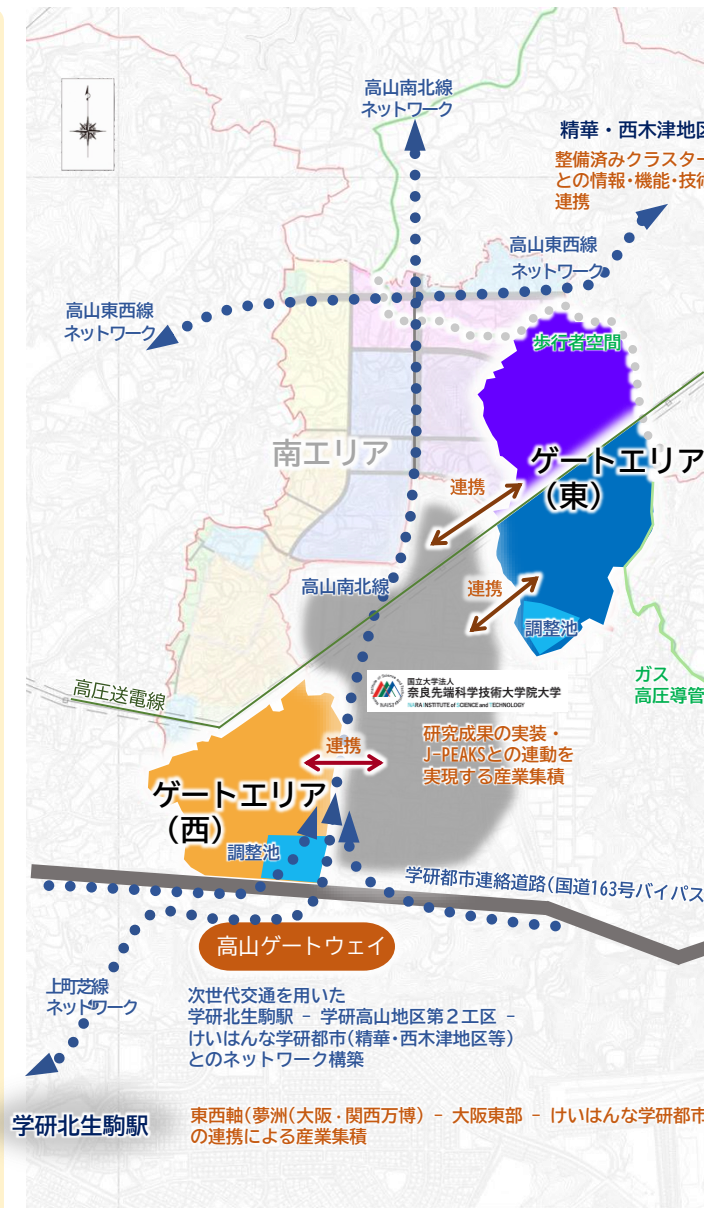


イメージ シーバルビア女川
出典：女川町HP

イメージ 岸和田市道の駅「愛彩ランド」(修景型調整池)
出典：岸和田市HP



イメージ 規制・制度改革とデータ連携を一体的に進め、先端大のサービスを実装「つくば市スーパーサイエンスシティ」
出典：地方創生2. 0好事例



都市型産業ゾーン

[目指す空間像]

- ◆ 文化・学術・研究成果を活かす産業施設・生産施設の集積
- ◆ 研究成果の社会実装に向けた施設の集積
- ◆ デジタル・AI等の新技術を活用した施設の集積
- ◆ GX・DXを活用した産業構造に向けたワット・ビット連携等による新時代の面的インフラ整備

[導入が望まれる機能]

- ・ 研究開発型産業
- ・ 高付加価値なデータセンター



イメージ 生産管理におけるAI活用事例
出典：NTT東日本HP



イメージ データセンターを核とした周辺への企業・人材の集積
出典：北海道HP

文化学術研究ゾーン

[目指す空間像]

- ◆ 技術者の育成を図ることを目的とした施設やスタートアップ企業・研究所・人材の集積
- ◆ 産学官金の連携による研究成果を活かした文化学術研究施設
- ◆ 先端大研究分野(情報科学領域・バイオサイエンス領域・物質創成科学領域)の関連企業の集積
- ◆ 先端大を中心とした教育機関との連携の施設

[導入が望まれる機能]

- ・ 高専や先端大に関連する教育施設 ・ 産学官金連携施設
- ・ 先端大連携研究施設 ・ 首都機能のバックアップ施設



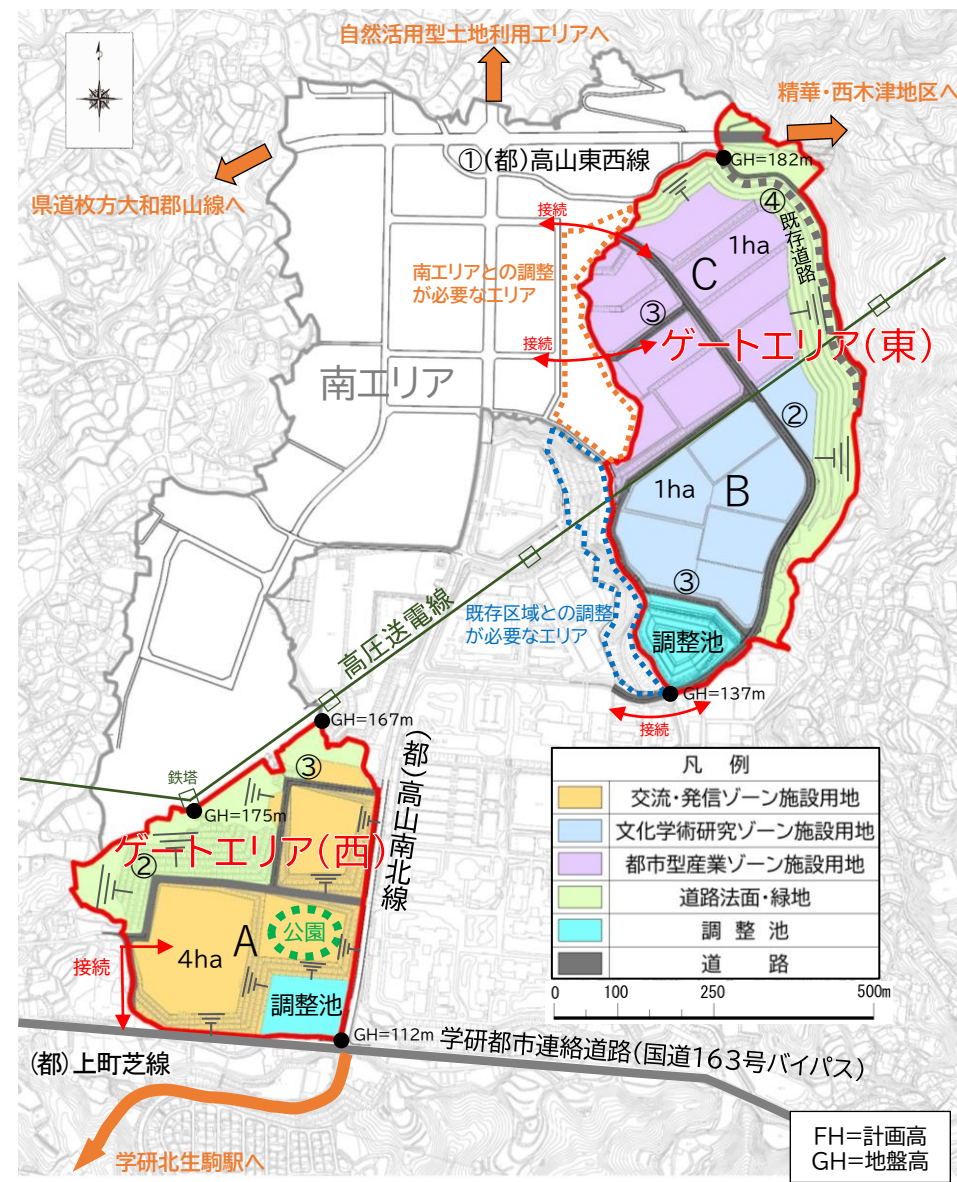
イメージ スタートアップ支援拠点 STATION Ai
出典：愛知県HP



イメージ つくば市物質材料研究機構
出典：国立研究開発法人物質材料研究機構HP

学研高山地区ゲートエリア基本計画図(案)

令和7年12月時点



概略計画・設計方針

■造成計画・街区計画

- …流域や丘陵地形、道路勾配、施設配置を考慮した造成計画
<産業系施設用地>
 - A 交流・発信ゾーン……大街区の構成を基本【約16ha】
 - B 文化学研究ゾーン…大街区の構成を基本【約13ha】
 - C 都市型産業ゾーン……大街区の構成を基本【約14ha】

■道路のルート設定・勾配設定

<骨格道路>…都市計画道路として整備

- ① 高山東西線 幅員18m(先端大西側既存道路幅員と同じ)勾配約2.5%
※幅員構成については将来の次世代交通を見据え、柔軟に対応する。

<その他道路>…隣接工区とのつながりを考慮した道路計画

高圧送電線下敷の空間を活用した道路計画

- ② 幅員12m(補助幹線道路)勾配約1.0%~7.0%
- ③ 幅員10m(区画幹線道路)勾配約1.0%~6.0%
- ④ 既存道路(鹿畑清水線)は歩行者空間の整備について検討。

■緑の街並み形成

- ・骨格道路(高山東西線)沿いには植栽を施す。
- ・交流・発信ゾーン内に公園の配置を検討。
- ・主に地区界縁辺部には、緑地(自然緑地)の配置を検討。
- ・地区計画の指定により、適宜、敷地内緑地を検討。

■調整池の位置・規模等の設定

調整池…地区内の雨水排水を集めるため、流域の流末(地区内)付近に配置する。規模は法令等に定められた基準値以上とする。
交流・発信ゾーンは公園等と調和のとれた多機能の調整池を検討。

※土地利用種別(各用地)の位置・規模については、立地企業等の動向を踏まえ柔軟に対応するものとする。
※この計画図(案)は、令和7年12月時点のものであり、今後の検討で変更となる場合があります。

基本計画作成

基本計画作成

[期間]

令和7年3月～令和8年3月

[内容]

- 各種調査(土地原簿・土地所有者名簿作成等)
- 区画整理設計(画地・道路・公園・造成等設計)
- 基本計画の検討
- まちづくり協議会の運営等支援
(地権者意向調査・勉強会・説明会の実施等)

勉強会

[目的]

- ・ 基本構想の共有
- ・ 「換地・減歩」など土地区画整理事業に係る知識習得

[実施時期]

R7年6月

意向調査結果

[目的]

土地利用に係る現時点での考えの把握

[実施時期]

R7年7～8月

[対象者及び回答数・率]

対象113名 回答90名(回答率79%)

[結果の概要]

- 所有地の場所を把握していない方が2割以上
- 現在、ゲートエリア内で耕作している方は1割程度
- 将来、自己活用を考えている方は3割程度
- 土地を売却・貸したいと考えている方は5割以上

説明会

[目的]

- ・ 土地区画整理事業(業務代行方式等)の仕組み
- ・ 基本構想・基本計画図案の共有
- ・ 土地区画整理準備組合の設立について

[実施時期]

R8年1月

学研高山地区Fエリアの事業者提案について

経緯

学研高山地区第2工区マスタープランにおける「段階的整備」「骨格道路」の考え方の実現に向け、地権者の会から事業アドバイザー4者に対し提案を募集したところ、1者から提案提出。

事業者提案

目指すべき方向性（案）

滞在型宿泊施設

- グランピング施設など、自然を活かした宿泊施設
- 自然体感型施設との連携
- 土地所有者の土地活用



自然体感型施設

- 高山竹林園と連携するなど伝統産業の振興に資する施設
- 既存の営農環境を活かした農業体験施設



自然活用型産業施設

- 自然環境に配慮したエネルギー循環に資する施設（高付加価値データセンター等）
- 自然体感型施設との連携による第6次産業の創出



公園・自然緑地

- 既存の有効活用
- グリーンインフラの活用取り組み推進



調整池・農業用水路

- 防災と水環境の創出
- グリーンインフラの活用取り組み推進



※ 事業者からの1提案であり、実現可能性の検討は実施されていません。

〔出典〕R7.11/20地権者の会役員会及びR7.11/28事業推進会議の資料

「学研高山地区第2工区の事業推進について」 参考資料

■ 学研高山地区及び周辺地域の価値向上事業 構想提案

構想提案は、「学研高山地区及び周辺地域の魅力向上につながる拠点検討ワークショップ」で作成(R8.5/11)されたものです。拠点づくりの方向性を示す提案であり、実現を保証するものではありません。

学研高山地区 広域的な地域交流の場となる拠点 構想提案

【未来へのゲートウェイ】

高山の食の提供

フードコート

高山産の食材を使った料理や、高山の生産者と奈良先端大の共同開発によるグルメを味わい、楽しむことができる。

・奈良先端大の技術を取り入れたロボットによる調理・配膳を行う等、最新技術の展示場やリビングラボとしても活用。



道の駅どうし
(山梨県道志村)
WEBページより

直売所・ショップ

茶葉や繭針といった高山地域の特産品や、近隣で作られた旬の農産品、米菓、酒、漬物等の食品、奈良先端大の技術により品種改良された農産物や食品が購入できる。



道の駅ごか(茨城県五霞町)WEBページより

防災拠点

防災設備

広い敷地と国道沿いという立地を活かした防災拠点であり平時は道の駅として有効に活用する。

- ・大型駐車場はヘリポートに転用
- ・山腹に避難壕を設置し、平時は貯蔵庫等に活用
- ・広場にテント用 フック、炊出しコンロや防災トイレの設置



秋田県能代市のWEBサイトページより

情報発信・交流

観光案内所

道路交通情報、高山地区の観光情報の提供や観光地への移動用小型モビリティを貸出す観光案内所

- ・高山地区の宿泊、飲食店等の情報提供
- ・奈良先端大の新技术によるモビリティ体験



道の駅まえばし赤城(群馬県前橋市)WEBページより

アカデミックメディアスクリーン

デジタルアート技術で奈良先端大の新技术・研究成果や地域(自治体・企業・団体等)の情報等を発信できる。

- ・プロジェクションマッピングの実施
- ・デジタルサイネージの設置



道の駅きつれがわ(栃木県さくら市)WEBページより

アカデミックコラボルーム

奈良先端大と地域が展示発表や会議ができる。

- ・奈良先端大の新技术・研究や市内小中学生の作品等の展示発表ができるスペース
- ・高山地区のまちづくり活動の会議、サイエンスカフェやセミナーの会場



道の駅富士川楽座(静岡県富士市)WEBページより

休息・健康増進

温浴・宿泊施設

来訪者が休息につながる温浴施設や宿泊施設。大学の研究成果、技術の体験もできる。

- ・気軽に素泊まりできる。
- ・奈良先端大、奈良県立医大の連携による研究成果、ヘルスケア技術が体験できる



道の駅きつれがわ(栃木県さくら市)WEBページより

広場、ステージ、調整池など

来訪者が気軽に交流・休息できるスペースであり、イベントやスポーツを楽しむことができる。また集客につながる工夫がされている。

- ・高山を象徴する茶釜モニュメント『おちやせん(落ちやせん)』を設置。受験の聖地とし、話題づくりと集客が可能
- ・屋外イベントも開催できるステージを用意。地域内外の交流の場、地域と奈良先端大の交流を目的とする「先端大フェスタ」の場としても使用可能。
- ・小川や池等の親水環境、淡水魚水族館の設置
- ・調整池の上は、平時には気軽にスポーツを楽しめる施設(テニス、ダンス等のストリートスポーツ)やドッグラン施設を設置



道の駅あらい(新潟県妙高市)WEBページより

大型駐車場

国道163号線等の利用者の駐車場であり観光バスや輸送車両等の大型車両が駐車可能である。

- ・障害の有無にかかわらず利用できる多目的トイレの設置
- ・イベント時に上映できる仮設映画設備(ドライブインシアター)の設置
- ・非常時はヘリポートとして活用



道の駅いたの(徳島県板野町)WEBサイトページより

休憩スペース

山腹にコリドーを設置、その下に来訪者が一時休憩できるスペースを用意し、緑の近くで休憩ができる。

- ・授乳等ができるベビー休憩室、Wi-Fi設備、スマートフォン等の充電機器を設置
- ・イベント時には竹細工などを体験できるスペースを設置

学研高山地区 広域的な地域交流の場となる拠点 構想提案【解説編】

拠点形成の目的

学研高山地区の広域的な地域交流の場となる拠点として、学研高山地区ゲートエリア(西)の交流・発信ゾーンを想定。

国道に隣接し、奈良先端大が近くにあるという特徴を活かした道の駅として、駐車場やトイレ、休憩施設といった基本的な機能のほか、有事の際の防災機能といった付加価値、さらには観光や伝統産業、情報発信の機能として、高山に関連する食の提供、健康増進、交流の場となる拠点を形成する。これらの拠点には先端大との研究成果実装の場を兼ねた、他の道の駅にはない高山の地域特性を活かした拠点を創出する。

利用者としては、学研高山地区の入口にふさわしい交流と賑わいが生まれる拠点となり、観光目的や大学及びけいはんな学研都市への出張者など遠方からの来訪が期待できるほか、大学生や地域住民の雇用創出にもつながる。

地域間連携・公共交通

大型駐車場を立地する特性を活かし、本拠点を軸として、高山地区の他拠点や観光名所等との連携した交通ネットワークの起点機能の創出を図る。LUUPやシェアサイクルなどのパーソナルモビリティ及び次世代交通システムの発着地等が導入されることにより、地域内の円滑な移動や周遊性の向上が期待できる。

防災拠点

- | 活用できる地域資源 | 地域への波及効果 |
|--|---|
| ▶ 国道に隣接している立地 | ▶ 災害発生時の被害最小化と、復旧迅速化 |
| ▶ 地元住民等、地元事業者等を構成とする各種コミュニティ（自治会、自主防災組織、経済団体等） | ▶ 災害発生時の地元住民相互の助け合い、地元住民・地元事業者間の助け合い能力の向上 |

地域の関わり

- | 地元住民等 | 防災拠点をベースとした自主防災組織の形成と運営等(防災訓練への参加等) |
|--------|---|
| 地元事業者等 | ▶ 食料・復旧資材の供給協力、拠点を利用した域外からの物資の調達と分配等 |
| 奈良先端大 | ▶ 防災技術(センサー、通信等)の実証、被害推定・避難行動・群集行動に関するシミュレーション等のデータ科学の研究成果の還元 |

情報発信・交流

- | 活用できる地域資源 | 地域への波及効果 |
|--|-----------------------------------|
| ▶ 地域（行政、企業、団体等）が保有する観光、道路交通、地域防災、企業や団体の事業活動等に関する情報 | ▶ 地元住民と地域外の住民間の交流を通じた地域振興 |
| ▶ 奈良先端大が保有する新技術・研究成果 | ▶ 奈良先端大と地域（行政、企業、団体等）との交流を通じた地域振興 |
| | ▶ 地域の魅力・情報発信拠点 |

地域の関わり

- | 地元住民等 | 地域・地元団体の情報提供、来訪者向けの観光情報提供アカデミックコラボルームでの展示発表等 |
|--------|---|
| 地元事業者等 | ▶ 各施設の管理運営、アカデミックコラボルームでのイベント企画運営等、地域・地元団体の情報提供、エリマナジメント組織の運営 |
| 奈良先端大 | ▶ モビリティの開発・管理運営技術の提供、デジタルアート技術の提供、地元住民等を対象とした新技術・研究成果の発表等 |

高山の食の提供

- | 活用できる地域資源 | 地域への波及効果 |
|--------------------------|--------------------------------|
| ▶ 高山地区で生産される新鮮で多様な品種の農産物 | ▶ 地産地消の促進と消費機会の創出による地域経済への寄与 |
| ▶ 奈良先端大の最先端の各種研究 | ▶ 奈良先端大の技術力と連携し、新たな高山地区の魅力アピール |
| | ▶ 6次産業の仕組み化 |

地域の関わり

- | 地元住民等 | 高山地区で生産される農産物等の食材や食品の購入、飲食 |
|--------|---------------------------------|
| 地元事業者等 | ▶ 農産物等の出品
フードコート・直売所・ショップの運営 |
| 奈良先端大 | ▶ バイオ技術を使った品種改良、食品の開発 |

休憩・健康増進

- | 活用できる地域資源 | 地域への波及効果 |
|-----------------|---------------------------------|
| ▶ 大阪圏からの良好なアクセス | ▶ 地域内外の来訪者の施設利用による地域経済への効果 |
| ▶ 医工連携を担う奈良先端大 | ▶ 健康づくり活動を通じた地元住民等の健康の維持、向上への寄与 |

地域の関わり

- | 地元住民等 | 各施設の利活用、広場等でのイベント開催と参加スポーツコミュニティの組成と運営を通じた健康づくり |
|--------|---|
| 地元事業者等 | ▶ 各施設の管理運営、スポーツのインストラクター派遣イベントの企画運営等 |
| 奈良先端大 | ▶ 奈良県立医大との医工連携による研究成果ヘルスケア技術の提供。 |

学研高山地区 広域的な地域交流の場となる拠点 構想提案

【未来へのゲートウェイ】

高山の食の提供

フードコート

高山産の食材を使った料理や、高山の生産者と奈良先端大の共同開発によるグルメを味わい、楽しむことができる。

・奈良先端大の技術を取り入れたロボットによる調理・配膳を行う等、最新技術の展示場やデモンストラーションとしても活用。

道の駅どうし（山形県産品）
WEBページより

直売所・ショップ

実業や観光といった高山地域の特産品や、近隣で作られた旬の農産物、果物、酒類等の食品、奈良先端大の技術により品種改良された農産物や食品の購入ができる。

道の駅にか（奈良県産品）
WEBページより

防災拠点

防災設備

広い敷地と国道沿いという立地を活かした防災拠点であり平時は道の駅として有効に活用する。

・大型駐車場はバリアフリーに配慮
・山側に避難壕を設置し、平時は貯蔵庫等に活用
・広場にテント・雨・フック、救出用コンロや防災トイレの設置

秋田県産品市
WEBページより

情報発信・交流

観光案内所

道路交通情報、高山地区の観光情報の提供や観光地への移動用小型モビリティを貸出する観光案内所

・高山地区の宿泊、飲食店等の情報提供
・奈良先端大の新技術によるモビリティ体験

道の駅まえばし（奈良県高市郡市）
WEBページより

アカデミックメディアスクリーン

デジタルアート技術で奈良先端大の新技術・研究成果や地域自治体・企業・団体等の情報を発信できる。

・プロジェクションマッピングの実施
・デジタルサイネージの設置

道の駅つれがわ（熊本県さくら市）
WEBページより

アカデミックコラボルーム

奈良先端大と地域が展示発表や会議ができる。

・奈良先端大の新技術・研究成果や市内小中学生の作品等の展示発表ができるスペース
・高山地区のまちづくりの会議、イベントスペースやセミナーの会場

道の駅さくら（奈良県高市郡市）
WEBページより

休憩・健康増進

温泉・宿泊施設

来訪者が休憩につながる温泉施設や宿泊施設、大学の研究成果、技術の体験もできる。

・気軽に宿泊できる。
・奈良先端大、奈良県立医大の連携による研究成果、ヘルスケア技術が体験できる

道の駅つれがわ（熊本県さくら市）
WEBページより

広場、ステージ、実証場など

来訪者が気軽に交流・休憩できるスペースであり、イベントやスポーツを兼ねたことのできる。また集客につながる工夫がされている。

・高山を象徴する高層モニュメント「おやせん（おやせん）」を設置。安眠の聖地とし、訪客への休息や集客が可能
・臨時イベントを開催できるステージを用意。地域内外の交流の場、地域と奈良先端大の交流を目的とする「先端大フェスタ」の場としても使用可能
・小川や池の流水環境、湧き水・湧き水の設置
・調整池の上は、平時には気軽にスポーツを楽しむことができるオープンエアのスポーツコートやドッグラン施設を設置

道の駅あいら（奈良県高市郡市）
WEBページより

大型駐車場

国道163号線等の利用者の駐車場であり観光バスや輸送車両等の大型車両の駐車可能である。

・障害の有無にかかわらず利用できる多目的トイレの設置
・イベント時に上乗せできる仮設映画設備（ドライブインシアター）の設置
・非利用時はバリアフリーとして活用

道の駅いたの（徳島県松野町）
WEBページより

休憩スペース

山側にコリドーを設置。その下に来訪者が一時休憩できるスペースを用意し、緑の近くで休憩ができる。

・授乳等ができるベビー休憩室、Wi-Fi設備、スマートフォン等の充電機器を設置
・イベント時には作業などを体験できるスペースを設置

この構想提案は、「学研高山地区及び周辺地域の魅力向上につながる拠点検討ワークショップ」で作成(2026.5/11)されたものです。拠点づくりの方向性を示す案であり、実現を保証するものではありません。

学研高山地区 大学と地域の連携・協力の拠点 構想提案

【地域と大学の課題(ニーズ)と資源(シーズ)が『みつかる、つながる暮らしのまちラボ』】

地域課題×大学研究

② 高齢者交流の場

先端大や県立医大との医工連携、企業の先端技術・機器の実証の場。

- ・高齢者交流施設



日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト

③ まちかど保健室

地域の方が気軽に立ち寄れるサードプレイスかつ健康リビングラボ。

- ・次世代健康測定や健康相談
- ・ウェルビーイングに関する情報発信
- ・孤独対策として社会参加を促す「社会的処方(※)」の実施
- ・運動時データを取得し、研究に活用



藤田医科大学WEBページより

④ スマートハウス・先端ミュージアム

IoTやAIなどの技術を駆使して、住む人によって、より安全・安心で快適な暮らしを実現する居住実験(体験)住宅。

- ・大学の技術や産学連携の成果を情報発信する実証体験型のミュージアム
- ・生活上の様々な情報を収集・分析し、研究に活用することで、快適な生活を実現



奈良先端大 WEBページより

産学連携・起業就業支援

⑨ ジョブ&キャリア支援センター

周辺でアルバイト先や就職先を探したい学生と、若年層が少ない農業や地域産業を結びジョブ支援。

- ・大学連携の就職支援
- ・企業の採用支援
- ・アルバイト仲介
- ・研修教育
- ・キャリア支援 などの複合機能



アカリク WEBページ

⑩ レンタルラボ、レンタルオフィス

産学連携の研究スペース、オフィススペース、研究機器の共同利用等。

- ・大学との共同研究企業
- ・大学スタートアップ
- ・地域の産業用地・産業施策との連携



KRP WEBページより

⑪ コワーキング+カンファレンス

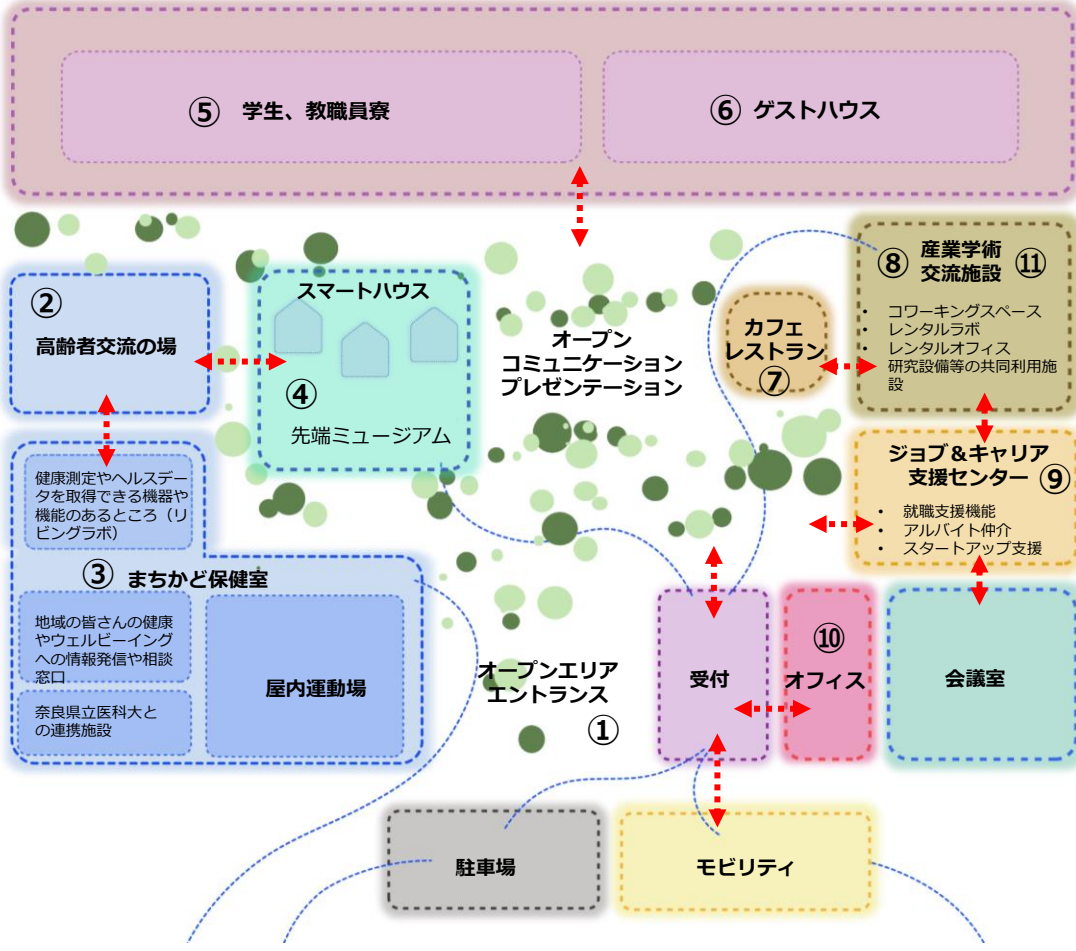
スタートアップや企業、地域産業や住民、団体の会議や共創の推進に活用できる場。

- ・カフェや会議スペース
- ・国が進める大学共創拠点「イノベーション・commons」として



NTT西日本 QUINTBRIDGE WEBページより

※イノベーション・commons…大学に設けられ、多様な人が集まって新しいアイデアを試しながら共創する「開かれたイノベーション拠点」



周辺地域との共同利用

⑤ 学生教職員の寮(国際寮含む住宅施設)

大学と地域の交流促進や、入居者による自主運営寮。

- ・学生・留学生による語学教室や海外料理教室など
- ・学生・留学生アルバイトには寮費軽減
- ・地域散在・地域の方による随い飯が食べられる



大田学園WEBより

⑥ ゲストハウス(宿泊施設)

大学外の関係者が泊まれる、滞りおもしろいにも対応できるハイグレード施設。

- ・中長期滞在者やVIP来客
- ・社会人学生
- ・市民講座受講生
- ・学習・ワークスペース参加のファミリー



慶応大学WEBより

⑦ お洒落なカフェ&レストラン

大学関係者や地域住民が気軽に立ち寄り、交流できる緑の空間。

- ・大学開発の食材や地域食材を活用
- ・留学生の自国メニューの提供



⑧ 大学研究設備の共同利用

大学が保有の最先端の計測・分析・加工設備を学内外共同で利用するための施設。

- ・大学でも取り組んでいるARIM(※)による機器やデータの共有を推進。
- ・レンタルラボやコワーキングスペースでも共同利用



ARIM Japan WEBページより

※ARIM…最先端の研究装置と材料データを全国で共有し、AIで新しい技術を生み出すための国家プロジェクト

エントランス・オープンエリア

① 駐車場・モビリティ・受付

地域住民や企業、学生や大学教職員など、「まちラボ」利用者を迎入れるエントランス機能。

- ・学研高山地区内外の各拠点を自由に移動できるモビリティ
- ・「ここに行けば大学とつながることができる」「地域や企業といつても交流できる!」そんなワクワク感のある空間

学研高山地区 周辺地域の暮らしの向上拠点 構想提案

【食・健康・文化・学びの交流拠点 ― 生活の質が高まる“たけまるタウン” ―】

商業／利便施設・ショッピング

スーパー・クリニック・薬局など

日々の生活の核となる商業施設

- ・日用品の買い物
- ・海外食材や地元野菜などの販売
- ・奈良先端大共同開発の商品も展開
- ・駐車場
- ・地域内の回遊性を高めるパーソナルモビリティ・自動運転の実装・実証



海外の食材も♪

飲食店など

公園などの緑を背景に、国際色豊かなカフェ&バー、パン屋、レストラン、居酒屋、バル

- ・アジア料理やハラル食など、多様な海外訪問者への対応
- ・奈良先端大が開発した発酵食品やビール等
- ・会社がいりにも立ち寄れる



南池袋公園

生活用品等ショッピングなど

ファッション、雑貨、園芸店や娯楽施設等、日常を豊かにするお店

- ・観光客などにも魅力的なショッピングの機会
- ・お酒店など、試飲体験などもできる



BONUS TRUCKのWEBページより下北線路街

緑・公園

広場・ステージ・遊具など

地域の方々がつくろぎ、楽しみながら、健康づくりや音楽・踊り等のさまざまな活動・表現に取組める、地形を活かした広場やステージのある緑豊かな空間

- ・マルシェやチャレンジショップ
- ・地場産野菜のファーマーズマーケット
- ・イベントや発表・表現の空間（祭り、クラブ活動、音楽・踊り等）
- ・子どもの遊び場（プレイパーク等）
- ・ペットフレンドリースペース
- ・学生などのサークル活動
- ・防災機能



“KOTOPOINT”
IKE-SUN PARK WEBページより

BBQ

家族連れや友達、海外の方も楽しめる、エコで、季節を問わず快適に過ごせるBBQ設備

- ・奈良先端大の技術活用（パロプスカイトなど）
- ・アートとも融合
- ・外国人対応のBBQ食材・生簀（いけす）で魚を釣ってBBQにも！



アートと融合した太陽光
パネルのBBQ施設

大学連携のリビングラボ

公園などを使って、奈良先端大と地域共創の実証型研究などを実施

- ・奈良先端大などの研究開発の試行や、製品化
- ・アートとも融合
- ・れた商品の販売など
- ・先端大による体験型イベントなどを実施
- ・ロボットの実証フィールド

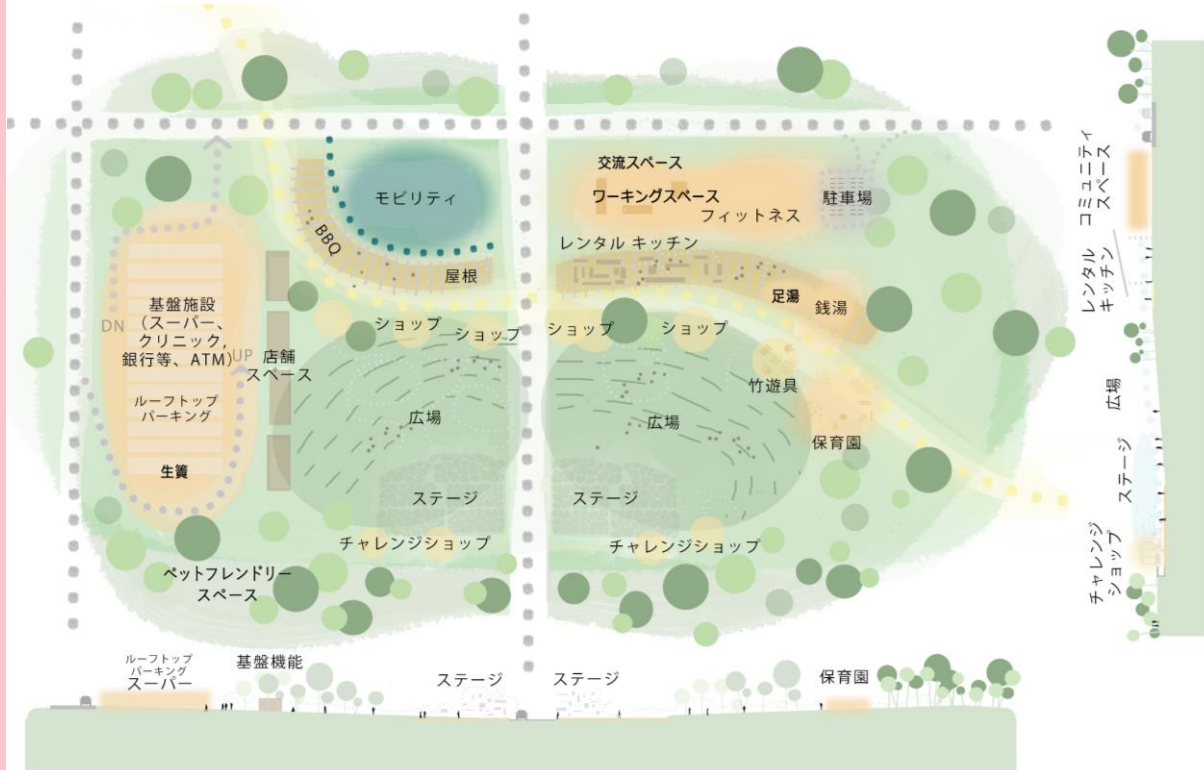


下北線路街「BONUS TRUCK」
(株式会社散歩社提供)

地域資源「竹」や歴史的背景「古道」の文化の継承

全体のしつらえに竹を取り入れた、伊勢参りの古道の名残を今に伝える緑道歴史の記憶を感じられる空間

- ・「たけまるくん」が来訪者をお出迎え
- ・遊具などにも、竹素材が活用
- ・古道の名残は緑道へ
- ・緑道の途中には、風情のある休憩所や茶室で点てるお茶屋が点在
- ・生物多様性の促進



学び・交流・コミュニティ

交流スペース・レンタルキッチン

地域と奈良先端大が交流できる地域交流スペース、チャレンジできるキッチン、趣味の教室など

- ・留学生などとの語学や調理などを通した国際・文化交流
- ・竹編針などの趣味の教室
- ・大学によるサイエンスコミュニケーション（サイエンスカフェ）・実証実験
- ・学生や就業者のワーキングスペース



瀬戸くらし研究所

学びの場

学研都市にふさわしい、子どもから大人まで、学びの機会創出の場や保育園

- ・奈良先端大との連携
- ・アーティスト等の活動の場
- など文化を養う



保育園と大学の連携協定事例
社会福祉法人峰陽会のWEBページより

フィットネス・銭湯や足湯

日々の健康や交流を支える、ウェルネス機能を備えた施設

- ・身体を整える設備や 道具などは、竹素材(竹の足つぼみなど)
- ・公園を眺めながら足湯



湖畔公園の足湯 諏訪市WEBページより

学研高山地区 周辺地域の暮らしの向上拠点 構想提案【解説編】

拠点形成の目的

学研高山地区第2工区の中核として都市機能の集積が求められる南エリアを想定し、周辺地域の暮らしの質を向上させ、人々の交流を育む拠点として、ライフステージの変化や新しい生活様式に対応した生活利便施設の集積と、コミュニティが生まれる機能集積を図る。

緑豊かな空間と景観を形成するため、広場や緑地を核に日常の生活利便機能を配置する。緑の空間は、くつろぎと健康づくり、多様な活動の場とし、地域の祭りや大学のクラブ活動、音楽や踊りなどの表現の場としての活用とする。また、広場周辺には魅力的な店舗を点在させ、賑わいと回遊性を生み出す。地域住民だけでなく、海外からの来訪者・滞在者にも配慮した食や買い物の環境を整え、訪問者の滞在を支える、多様性を受け入れる拠点を形成する。

さらに、学研都市の特性を生かし、大学関係者・海外滞在者に開かれた国際的な学びと交流の場を形成するとともに、大学や研究機関と連携し、先端技術の実証・共創型の研究・交流、サイエンスカフェなど日常的な学びの機会を創出する。

これらの機能は、平日には地域での豊かな暮らしを支え、週末にはウェルビーイングを求める親子連れや観光客を迎える場となる。

地域間連携・公共交通

本拠点は、将来、学研高山地区第2工区の中核として、東西南北の周辺地域を結ぶ主要道路と隣接する結節点として、近隣住民や奈良先端大、地域事業者に加え、周辺地域からもアクセスしやすい立地である。

今後、まちの整備と合わせ公共交通の導入検討が進められるが、商業機能の活用を促すため、基幹となる公共交通に加え地域内の回遊性向上に向け、LUUPやレンタサイクルなどのパーソナルモビリティポートの導入が望まれるとともに、運転に依存せず、仕事帰りに立ち寄りが可能となる公共交通の充実も求められる。

商業／利便施設・ショッピング

活用できる地域資源

- ▶ 地元の物産(野菜・茶釜・編針等)
- ▶ 大学と地域事業者などが開発した商品や研究成果など

地域への波及効果

- ▶ 一次産業を含めた地域産業の発展への貢献
- ▶ 大学や研究機関の研究・開発した成果の試行による普及・発展
- ▶ 周辺観光地への観光客の移動拠点

地域の関わり

地元住民等	生活に必要な日用品の買い物 働く・学ぶ・応援の場
地元事業者等	開発・生産したものの販売 レストランなどの事業展開
奈良先端大	研究・開発した成果の試行 学生・留学生・教員や海外からの訪問者の食や買い物

緑・公園

活用できる地域資源

- ▶ 地形、在来動植物、竹など
- ▶ 歴史的背景(古道・祭り・伝承・文化など)

地域への波及効果

- ▶ 地域の歴史の継承
- ▶ くつろぎ、健康、にぎわいづくり
- ▶ 竹など地域特産の波及

地域の関わり

地元住民等	日常的なくつろぎ、健康、にぎわいなどの場 地域の行事(お祭り)などの開催、参加 チャレンジショップなどのチャレンジの場
地元事業者等	日常的なくつろぎ、健康、にぎわいなどの場 CSR/CSVなどの活動、地域貢献
奈良先端大	地域共創型の研究 学生や教員などの活動の場所

学研高山地区 周辺地域の暮らしの向上拠点 構想提案

【食・健康・文化・学びの交流拠点 — 生活の質が高まる“たけまるタウン” —】

商業／利便施設・ショッピング

スーパー・クリニック・薬局など

日々の生活の核となる商業施設

- ・日用品の買い物
- ・海外食材や地元野菜などの販売
- ・奈良先端大共同
開発の商品も展開
- ・駐車場
- ・地域内の回遊性を
高める(パーソナル
モビリティ・自動運
転の実証・実証)

海外の食材もよ

飲食店など

公園などの緑を背景に、国際色豊かなカフェ&バー、パン屋、レストラン、居酒屋、バー

- ・アジア料理やハラール食など、多様な海外訪問者への対応
- ・奈良先端大が開発した発酵食品やビール等
- ・会話がしやすくなる

南池公園

生活用品等ショッピングなど

ファッション、雑貨、園芸店や新築施設等、日用品を揃えられる施設

- ・観光客などにも
魅力的なショッ
ピングの機会
・お洒落店と、試
飲体験なども
できる

BONUS TRUCKOWEBAページより下北観音街

緑・公園

広場・ステージ・遊具など

地域の方々がくつろぎ、楽しみながら、健康づくりや音楽・踊り等のさまざまな活動・表現に励める、地形を活かした広場やステージのある緑豊かな空間

- ・マルシェやチャレンジショップ
・地産野菜のファーマーズマーケット
・イベントや発表・表現の空間
・劇場、クラブ活動、音楽・踊り等
・子どもの遊び場(プレイパーク等)
・ペットフレンドリーなスペース
・学生などのサークル活動

「KOTOPORT」
(IKE-SUNパークWEBページより)

BBQ

家族連れや友達、海外の方も楽しめる、季節問わず快適に過ごせるBBQ設備

- ・奈良先端大の技術活用
(ロボットカイトなど)
・アウトも兼ね
・外国人対応のBBQ食材
・生魚(イサナ)で魚を釣ってBBQに



アートと融合した太陽光パネルのBBQ施設

大学連携のリビングラボ

公園などを活用して、奈良先端大と地域共創の実証実験研究などを実施

- ・奈良先端大などの研究
開発の試行や、製品化さ
れた商品の販売など
・先端大による体験型イ
ベントなどを実施
・ロボットの実証フィールド



下北観音街BONUS TRUCKOWEBAページより

地域資源「竹」や歴史的背景「古道」の文化の継承

全体のしつらえに竹を取り入れた、伊勢参りの古道の名残を感じられる空間

- ・「たけまるくん」が来訪者をお迎え
・遊具などには、竹素材の活用
・古道の名残を残す
・緑道の途中には、憩いのある休憩所
や茶室や民家などあり
・生物多様性の促進



この構想提案は、「学研高山地区及び周辺地域の魅力向上につながる拠点検討ワークショップ」で作成(2026.5/11)されたものです。拠点づくりの方向性を示す案であり、実現を保証するものではありません。

学研高山地区 自然・歴史文化との共生拠点 構想提案

【みんなで体験！高山のあれこれ みんなで活用！高山地区の資産】

農業、自然活用

竹の活用

建物や農業資材などに竹を使用し、様々な竹活用案の展示場に。

- 竹のビニールハウス、竹チップ、肥料、ベンチ、発酵熱の活用等



農林水産省WEBページより

大学連携

大学と連携した農業技術・農産物の研究・開発成果の導入・展示。また、学術の地域展開に向けた実証の場としても活用。



奈良先端大WEBページより

循環型農業の実践

循環型農業、自然との共生の実践・発信。

- ・アควAPONIX
- ・竹チップ活用
- ・子どもたちの学びの場としても活用。



(一社)アควAPONIX推進協会紹介資料より

農のリアルを知る農業体験

一般的な収穫体験だけでなく、農業の地道な作業や、自然に振り回されるリアルも組み込んだ体験コース。

- ・草刈や力仕事など
- ・自然に左右されることも貴重な体験
- ・就農希望者にとって実践的な判断材料に。



生駒市WEBページ

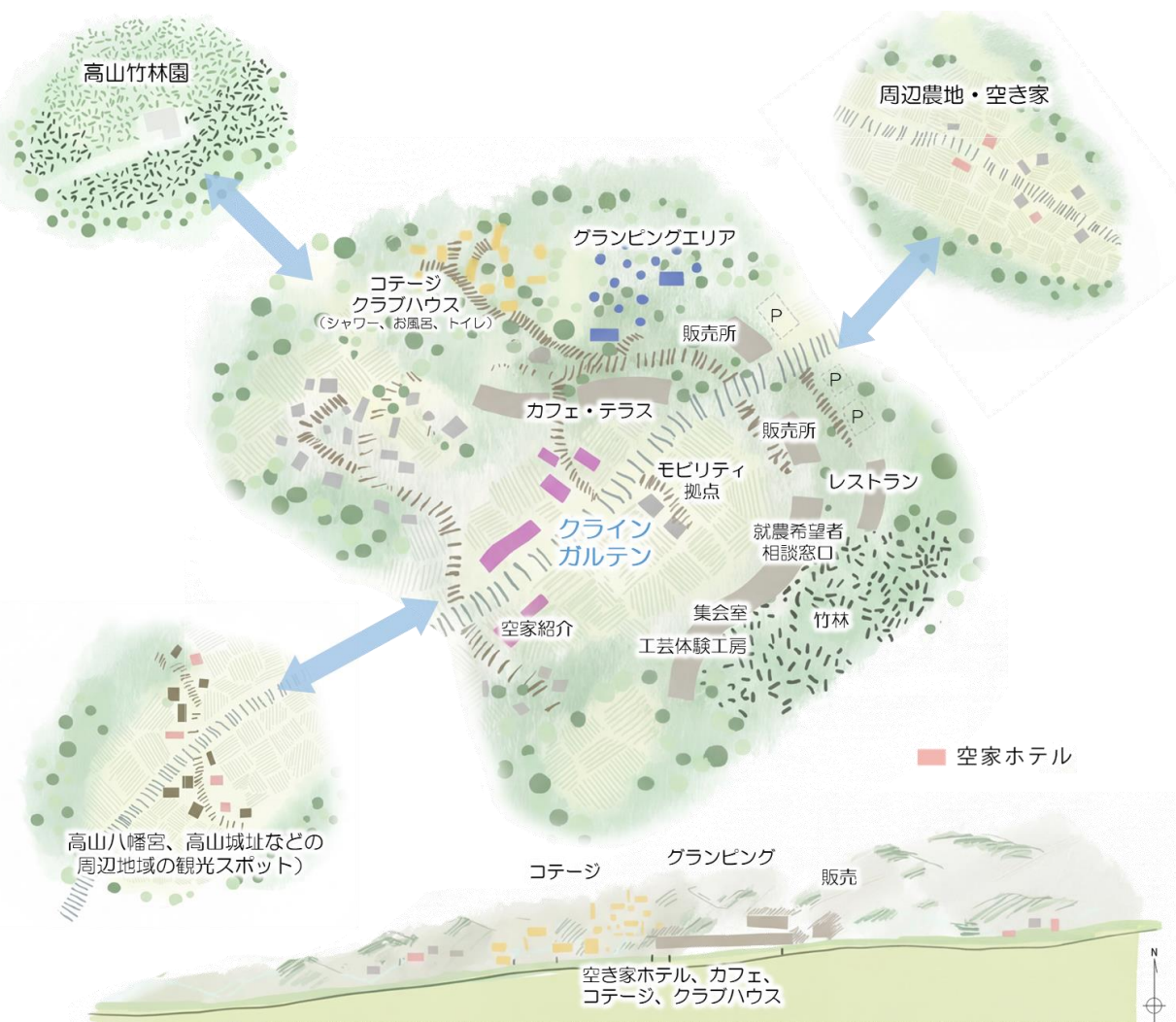
農業サポート、就農相談

体験者や農業経験が浅いクラインガルテン利用者に向けたサポートを行う。

- ・農機具貸出
- ・レクチャー
- ・トイレ・シャワーの整備
- ・就農相談など。



生駒市公式note



移住対策

お試し移住、空き家紹介など

移住希望者に、実際の暮らしを体験してもらうことで、移住後ギャップを解消。

- ・空き家紹介
- ・お試し移住のコーディネート。



グッドサイクルいこまWEBページ

飲食

レストラン・カフェ

地域住民が調理や運営する素朴な味わいのレストラン。

- ・地域農産物や大学発食材を使用。
- ・地域内外の交流拠点としても活用。



生駒山麓公園WEBページ

宿泊・観光・文化体験

キャンプ場、グランピング場

高山の自然を感じる入り口施設として。

- ・竹活用等の特色ある施設・設備、
- ・農業体験や工芸体験もできる
- ・高山来訪のきっかけに



生駒山麓公園WEBページ

工芸体験・地域物産販売所

来訪者に高山の魅力を知ってもらう。

- ・竹細工
- ・茶釜づくり体験
- ・野点や茶室体験
- ・地元作家によるアート体験など



生駒市WEBページ

ガルテン・クラインガルテン

農地つきコテージ、ガーデン付きコテージを周年貸出し、週末農業やガーデンングを楽しむコース。

農業や庭園巡りを通じた交流の場としても活用。



笠間クラインガルテン 笠間市WEBページより

皆で育てる空き家ホテル

空き家DIYワークショップなどで地域内外で協働して、空き家をホテル化。

空き家に新たな価値とコミュニティを創り出す。



沖縄県移住応援サイト おきなわ島ぐらLWEBサイトより

モビリティ拠点

ガルテン・観光農園と高山の名跡等を繋ぐ周遊コースの整備。

サイクリング拠点などもおき、他拠点との連携も図る。



高山八幡宮WEBページより

学研高山地区 自然・歴史文化との共生拠点 構想提案【解説編】

拠点形成の目的

この地域は学研高山地区第2工区の自然的土地利用を想定し、豊かな自然環境を活かし、周辺の伝統産業や歴史文化資源と一体となったエリアを形成し、自然体験と地域文化を楽しむ滞在・交流の場の創出を目指す。地域の観光資源や事業者、住民と連携し、飲食や農業指導、体験プログラムなどを通じて来訪者を受け入れる体制を整えるとともに、地域同士をつなぐ拠点を整備し、交流の広がり促進する。施設としては、クラインガルテンや観光農園を中心とした体験型施設に加え、周辺地域の空き家を活用した宿泊・移住や、耕作放棄地の活用や地域課題の解決にもつなげる。また、お試し移住や農業体験など多様な機会を設け、都市部の来訪者や新規就農・就業希望者、移住検討者を呼び込み、滞在から定住へとつながる流れを創出し、持続的な地域活性化を図る。

地域間連携・公共交通

各拠点が役割を分担しながら相互に連携し、地域全体の魅力向上と回遊性の創出を図る。農園は大学の研究やリビングラボの拠点として活用し、実証実験や成果発信の場とする。今後整備が想定される道の駅と連携し、来訪者を体験拠点へ誘導するとともに、農産物の出荷など双方間の連携を進める。さらに、基幹となる公共交通に加え地域内の回遊性向上に向け、LUUPやレンタサイクルなどのパーソナルモビリティポートを導入し、移動環境の向上を図る。加えて、先端大や高山竹林園、高山八幡宮などとも連携し、学術・観光・文化が運動する広がりある地域づくりを目指す。

農業・自然

活用できる地域資源

- ▶ 空き農地や耕作放棄地
- ▶ 農業者による新規就農・農業体験支援
- ▶ 竹・竹産業・茶釜技術者
- ▶ 自然豊かな環境 ▶ 奈良先端大

地域への波及効果

- ▶ 竹などの地域特産の波及
- ▶ 地域産業の活性化
- ▶ 大学連携による農業生産性向上

地域の関わり

地元住民等	空き農地の提供や農業や自然に関する各種イベントへの参加・運営
地元事業者等	農業体験者との交流など 循環型農業の実践の場の運営、農のリアルを知る農業体験をきっかけとする新規就農者の育成、高山特産品のPRなど。
奈良先端大	大学連携による先端技術の導入、研究成果の社会実装・展示の場、地域農業者等と意見交換や課題共有の場として活用。

移住対策

活用できる地域資源

- ▶ 空き家や古民家
- ▶ 子育てしやすい地域コミュニティや自然環境

地域への波及効果

- ▶ 空き家活用による地域課題の解決
- ▶ 移住者の増加による地域活性化

地域の関わり

地元住民等	空き家の提供や、お試し移住者との交流・コミュニケーションで高山の魅力伝える。
地元事業者等	空き家DIYイベントや空き家仲介などの住まい対策、また移住相談やコーディネートなどで安心して移住を考えられる仕組みづくり。
奈良先端大	環境やスマート技術などの研究成果や実証実験による地域の新しい価値や産業の創出。

学研高山地区 自然・歴史文化との共生拠点 構想提案【みんなで体験！高山のあれこれ みんなで活用！高山地区の資産】



飲食

活用できる地域資源

- ▶ 地域の農産物 特産品
- ▶ 地域事業者、地域住民
- ▶ 地元食材を活かした料理

地域への波及効果

- ▶ 物販等による地域経済の活性化
- ▶ 雇用や地域住民との交流を生み出す場の創出

地域の関わり

地元住民等	調理や運営の担い手、働く場、住民同士や地域外の来訪者とのコミュニケーションの場としての利用
地元事業者等	地元農産物の提供、茶に関するメニュー・コンテンツなどで消費拡大や高山特産品のPRに繋げる。
奈良先端大	学生のアルバイトの場や地域住民とのコミュニティの活性化

宿泊・観光・文化体験

活用できる地域資源

- ▶ 空き家や高山の自然環境
- ▶ 高山竹林園や高山八幡宮などの歴史文化資源
- ▶ 竹細工や茶釜などの伝統工芸品

地域への波及効果

- ▶ 農業や高山の産業振興
- ▶ 来訪者が滞在することで地域住民との交流や高山の魅力の創出

地域との関わり

地元住民等	自然環境を活用した体験ワークショップや食の提供、地域の魅力を伝える案内役、来訪者との継続的な関係性の構築
地元事業者等	自然体験宿泊の運営、クラインガルテン利用者に対する農業指導などの、自身の経験や知識の伝達。
奈良先端大	自然や科学体験などの学習プログラムの提供などにより、他拠点にはない魅力ポイントの発信。